

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

|                                                 |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
|-------------------------------------------------|------------|-------------|--------------------------------------|---------|--------------------|----------------------------------------------|---------------|
| 学 科                                             |            | 柔道整復スポーツ学科  |                                      | 科 目 区 分 | 専門分野               | 授業の方法                                        | 実習            |
| 科 目 名                                           |            | 固定法Ⅲ        |                                      | 必修/選択の別 | 必修                 | 授業時数(単位数)                                    | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年                                         |            | 2年生         |                                      | 学期及び曜時限 | 前期                 | 教室名                                          | 第2校舎3階実技室     |
| 担 当 教 員                                         |            | 尾崎 卓宏・川村 智広 | 実務経験と<br>その関連資格                      |         |                    |                                              |               |
| 《授業科目における学習内容》                                  |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 柔道整復師としてスポーツ現場にて使えるテーピング法及びスポーツ手技               |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 《成績評価の方法と基準》                                    |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 実技試験評価:100%                                     |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》                               |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 授業参考となるプリントを随時配布する                              |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 【参考図書】                                          |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 解剖学(全国柔道整復学校協会監修教科書), 柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会監修教科書) |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 《授業外における学習方法》                                   |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 学んだ部位に対して、解剖学等のテキストを用いて確認し復習すること。               |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 《履修に当たっての留意点》                                   |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 実技を通じて筋肉の走行等に、より興味を持ってほしいと思います。                 |            |             |                                      |         |                    |                                              |               |
| 授業の方法                                           |            | 内 容         |                                      |         | 使用教材               | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容                        |               |
| 第1回                                             | 講義<br>実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 基本的なテーピングの使い方を習得する。                  |         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |               |
|                                                 |            | 各コマにおける授業予定 | テーピングの基礎を学ぶ                          |         |                    |                                              |               |
| 第2回                                             | 実習形式       | 授業を通じての到達目標 | 指の外傷に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使えるようになる。 |         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |               |
|                                                 |            | 各コマにおける授業予定 | 指に起こりえる外傷とテーピング実技                    |         |                    |                                              |               |
| 第3回                                             | 実習形式       | 授業を通じての到達目標 | 手首に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使えるようになる。   |         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |               |
|                                                 |            | 各コマにおける授業予定 | 手首に起こりえる外傷とテーピング実技                   |         |                    |                                              |               |
| 第4回                                             | 実習形式       | 授業を通じての到達目標 | 肘関節に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使えるようになる。  |         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |               |
|                                                 |            | 各コマにおける授業予定 | 肘に起こりえる外傷とテーピング実技                    |         |                    |                                              |               |
| 第5回                                             | 実習形式       | 授業を通じての到達目標 | 肩関節に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使えるようになる。  |         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |               |
|                                                 |            | 各コマにおける授業予定 | 肩に起こりえる外傷とテーピング実技                    |         |                    |                                              |               |

| 授業の方法 |      | 内 容         |                                              | 使用教材               | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容                        |
|-------|------|-------------|----------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------|
| 第6回   | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。          | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 腰に起こりえる症状とテーピング実技                            |                    |                                              |
| 第7回   | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 腰部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。          | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 腰へのテーピング復習と治療法                               |                    |                                              |
| 第8回   | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 大腿部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 大腿で起こりえる症状とテーピング実技                           |                    |                                              |
| 第9回   | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 大腿部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 大腿へのテーピング復習と治療法                              |                    |                                              |
| 第10回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 膝関節部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。        | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 膝で起こりえる症状とテーピング                              |                    |                                              |
| 第11回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 膝関節部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。        | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 膝へのテーピングの復習と治療法                              |                    |                                              |
| 第12回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 下腿部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 前脛骨筋の症状とテーピング                                |                    |                                              |
| 第13回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 下腿部に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 過怠金に起こりえる症状とテーピング                            |                    |                                              |
| 第14回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 足関節に対するテーピングの使い方を理解し、臨床現場で使用するようになる。         | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | アキレス腱や足に起こる症状                                |                    |                                              |
| 第15回  | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 本講義内容について履修した内容から、指摘された部位のテーピング貼付けができるようになる。 | 配布プリント<br>テーピングテープ | 解剖学の教科書や柔道整復学の教科書を適宜参考にし、解剖学構造ならびに外傷の理解を深める。 |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | まとめおよび履修内容の確認                                |                    |                                              |